

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハートフルホームぽっぽキッズ		
○保護者評価実施期間	2026年1月14日		～ 2026年1月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2026年1月14日		～ 2026年1月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月16日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	身辺自立への取り組み	・日常生活動作の習得を目的とし、個々の発達段階に応じた支援を行っている。・食育を通じて食の楽しさや大切さを知ってもらい「生きる力」の育成に取り組んでいる。	・身辺自立の定着のため手順表や写真、カードを活用し自分で気づいて主体的に行動できる場面を増やす。
2	社会性・コミュニケーション能力の育成	・集団活動への参加を通じてルールや約束事を守る力を育成している。・活動の中で他者の意見を聞く、順番を守る、協力行動、気持ちの切り替えを経験できるように利用者同士の関わりを促している。	・気持ちの整理や折り合いのつけ方について職員が仲介したり、具体的にモデルケースを提示しながら支援する。・できた行動を職員が言葉にして伝え定着を図る。
3	個々の子ども理解	・子どもの行動の結果だけでなくその背景にある不安や特性を理解することを大切にしている。・日々の記録と職員間の振り返りを通して関わり方を話し合いよりよい支援を目指している。	・ケース検討の時間を定期的に設け、保護者へのフィードバックの機会を増やし家族と共通した対応ができるように連携していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブや地域の方との交流が不十分	・感染症が流行してから、一年を通じて交流がしにくくなっている。・他の事業所との日程調整が難しい。	・地域の児童クラブや保育園と連携し、どのような形であれば実施可能かを探っていく。・年間計画の中に交流会を位置付け担当者を決めて実行性を高めていく。
2	保護者に日々の様子が十分に伝えきれていない	・送迎時の受け渡し時間だけでは十分に伝えきれない。・連絡帳の活用も考えたが、支援時間中に書き込む時間が見つからない。	・LINEを活用し週に数回は活動中の様子を写真を添えてお知らせする。・面談日に具体的な話ができるように日々の記録をしっかりと準備しておく。
3	保護者会や研修会が実施できていない	・保護者会や研修会の計画や準備をする時間の確保ができていない。	・保護者のニーズや希望を把握し、年間計画の中に保護者会や研修会を位置づける。・かしまった形から始めるのではなく、座談会のような話しやすい雰囲気の中で行える形から始める。